

2021年5月19日

鹿児島大学病院回復期病棟で経管栄養を行っていた患者さんへ  
( 医学系研究に関する情報 )

鹿児島大学病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

回復期病棟におけるカルニチン欠乏症に関する探索的研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 リハビリテーション科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 リハビリテーション科  
教授 下堂 蘭恵

【研究の目的】

近年、カルニチンと経管栄養の関係が注目されています。しかし、カルニチンが不足している人がどのくらいいるのか、どの程度の経管栄養を行うとカルニチンが不足するのか、詳しくわかっていません。この研究の目的は、回復期病棟に入院中に経管栄養を1ヶ月以上行っている患者さんのカルニチンの数値を調査し、関連する症状などを検討することです。この研究を行うことにより、カルニチン欠乏症の予防や治療を考える際に必要な情報が得られ

ることが期待できます。

### 【研究の方法】

回復期病棟では、1ヶ月に1回程度血液検査を行っており、カルニチンの低下が疑われる患者さんにはカルニチンの検査も日常的に行っています。カルニチンの検査を行った患者さんについて、カルニチンの数値およびカルテに記載されている情報として、年齢、性別、身長、体重、経管栄養の期間、経管栄養剤の種類と量、検査結果、意識状態、治療の経過などを調査します。

### 【対象となる患者さん】

この研究は鹿児島大学病院の回復期病棟に入院し、経管栄養（鼻や口、または胃ろうなどから管で栄養剤を送り込む方法）を1ヶ月以上継続していた患者さんのうち、カルニチンの測定を行った方を対象にしています。対象の期間は2018年4月1日から2024年3月31日までです。

### 【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

経管栄養患者割合、意識レベル（JCS、GCS）、血液検査（カルニチン、アンモニア、BUN、CRE、Alb、血糖値、AST、ALT、Na、K、Ca、Cl、Hb）身長、体重、使用薬剤（抗てんかん薬、抗生剤）、使用した経管栄養剤、経管栄養の開始時期、FIM、HDS-R、臨床症状の有無（痙攣発作、筋緊張、筋力、こむら返りの有無、横紋筋融解症、嘔吐、心肥大など）

利用する者の範囲：

代表研究機関：鹿児島大学病院リハビリテーション科

研究責任者 下堂 蘭恵

共同研究機関：恒心会おぐら病院

### 【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを

直接特定できる個人情報を匿名化します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学病院リハビリテーション科の研究費で実施します。この研究に対する企業等からの資金および労務提供はありませんので、この研究において利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学病院 リハビリテーション科

教授 下堂 蘭恵

電話 099-275-5339 FAX 099-275-1273